

こどもひろば

◆企画

「こども読書活動交流集会」なのだから、子供たちが当日参加できるコーナーを用意しようと、今年度初めて試みました。

場所が吹き抜けの通路のため、紙芝居と工作をすることにしました。

◆準備

来てくれる子供たちの年齢層の予想がつかず、紙芝居選びに悩みました。乳幼児向けに『おおきくおおきくおおきなあれ』、『ごきげんのわるいコックさん』、『ぶたのいつつご』、『こねこのしろちゃん』、自然の紙芝居から『まんまるダンゴムシ』、『どんぐりのあかちゃん』、昔話は『かぜのかみとこども』、『しりなりべら』、『りゅうぐうのくろねこ』の計9点を選びました。

工作は牛乳パックを使った「紙コプター」と「ジャンプガエル」と「びっくりへび」の3種類に決定。牛乳パックをたくさん集めて、切って準備しました。



紙コプター



ジャンプガエル

◆当日

紙芝居の時は紙芝居に集中してもらいたいと思い、紙芝居と工作の時間を分け、それぞれ5回ずつ行いました。

①紙芝居の時間：おはなし会のように、最初に手遊び「めがねまくら」か「いちじくにんじん」で楽しくリラックス。紙芝居は用意したプログラムの中から、その時に来てくれた子供たちに合わせて2点。最後に手遊び「さよならあんころもち」で、あんころもちをお土産にして、おしまい♪



②工作の時間：牛乳パックを使った工作は、どれも小さい子にも簡単に作れて、遊べる工作だったので、ほとんどの参加者が3種類にチャレンジ。子供たちはもちろん、大人にも大好評で、みんなすぐに飛ばして楽しんでいました。



◆おわりに

「こどもひろば」のPRが足りず、子供たちがどれくらい来てくれるか心配でした。でも紙芝居に52名(子供23名、大人29名)、工作に88名(子供45名、大人43名)の計140名が参加してくれました。紙芝居に大活躍のおはなしの会「虹」の山本さんと、工作に田中さん親子のご協力のおかげで、温かな雰囲気でのできました。場所も入口に近く、気軽に参加してもらえて良かったです。

参加者に楽しんでもらえた手ごたえがありましたので、来年もできたらと思います。

参考図書：『まるごと牛乳パック』木村研編著 いかだ社 2000、『きむらゆういち・みやもとえつよしのガラクタ工作 第1巻 牛乳パックで遊ぼう』きむらゆういち、みやもとえつよし著 チャイルド本社 2007